

21 世紀水倶楽部緊急研究集会

東日本大震災をどう受け止めるか

3月11日14時46分頃、牡鹿半島の東南東約130km、深さ約24kmの三陸沖を震源として、国内観測史上最大となるマグニチュード9.0の東北地方太平洋沖地震が発生。この巨大地震と、その直後に岩手県、宮城県、福島県などの太平洋沿岸に襲来した大津波により、当該地域を中心に多数の死傷者が出、1995年の阪神・淡路大震災を上回る、戦後最大の災害となった。下水道施設においても機能停止となる施設も多く、甚大な被害を受けた。

この多大な犠牲をもたらした大震災の教訓をどう受け止め、今後どうしていくかを考える研究集会を開催し、大災害を踏まえて、今後復旧、復興、事業の方針見直しなどどう考えていったらいいか、携わられている方々にお話を伺うとともに、提案紹介なども行い、今後の方向について意見交換・討議します。

主 催：NPO 21 世紀水倶楽部

日 時：平成 23 年 5 月 25 日（水）14：00～17：15

場 所：(財) 下水道新技術推進機構 8 F 中会議室

東京都新宿区水道町 3-1 地下鉄有楽町線江戸川橋徒歩 2 分

プログラム：13：30頃から被災写真などのスライドショーを行っています

1. 講演1「東日本大震災における下水道の被害と対応」

国土交通省 石井 宏幸 下水道事業課企画専門官

2. 講演2「東日本大震災が提起した課題」

早稲田大学社会環境工学科 濱田 政則教授

下水道地震・津波対策技術検討委員会委員長

3. 提案などの紹介

4. 質疑・討議

参加登録 参加定数 50 人

参加費は無料。任意ですが、当日義援金を受け付けします。

一口 千円

登録は5月9日から開始します。5月20日まで。満員になりましたら締め切ります。

(問い合わせ先) E-mail: sympo-info@21water.jp またはTEL03-3980-4567(当日も)